

東京地評ホームページ
QRコードでアクセス



TOKYO はたらく仲間

229

2022年5月15日
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館

TEL 03(5395)3171

FAX 03(5395)3240

E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

第93回メーデー 3年ぶりにリアル開催 要求を確信に労働組合運動に結集



ウクライナの平和、貧困と格差・全ての差別をなくし、8時間働いてくらせる社会をめざすデモ

ウクライナの平和の回復 生活改善 物価高騰対策を

第93回中央メーデーは「コロナ解雇を許さず雇用継続と休業・生活保障の充実を」「ジェンダー平等、なくせ貧困・格差・差別、8時間働けば暮らせる社会を」をスローガンに全国200カ所以上の会場で開催しました。

第93回中央メーデーは5月1日、東京・代々木公園で3年ぶりにリアル開催(オンラインも配信)しました。

中央メーデー実行委員会の小畑代表委員(全労連議長)が主催者あいさつし、ウクライナの平和回復、危険な大軍拡や核共有論ではなく「憲法を生かした平和な日本をつくる広範な国民の共闘」を呼びかけました。ケア

労働者の賃上げをはじめ「要求に確信を持ち労働組合への結集を高め、運動をすすめていこう」と述べました。

日比谷メーデー実行委員会の中岡全労協事務局長は「コロナ禍でみなさんと取り組んだ女性相談会や年越し相談村で、公助の必要性が明らかになった。誰も取り残されない社会にしよう」と連帯あいさつしました。

日本共産党の志位委員長が激励あいさつし、平和のための三つの呼びかけなど話しました。

ビデオメッセージでは、日本被団協の田中代表委員「ロシアに絶対に核兵器を使わせない。その前に全力で戦争は終わらせる」、愛労連西尾議長「最低賃金引き上げ、ケア労働者の大幅賃上げの世論を広げている」、福島原発訴訟の中島原告団長「11年たつが復興にほど遠い。被害が二度と起きない確かな道は脱原発だ」と寄せられました。決意表明は、自交総連の高城委員長「人の命を

あずかる運動者に、良好な健康状態は欠かせない。白タク合法化阻止、労働時間短縮に奮闘する」、フリーランスの労働者を組織する出版ネットの樋口委員長「消費税インボイスの実施中止、

5.29 ワクワク王子 はたらくフェスタ

東京で最賃祭だ、ワッショイ、ワッショイ！

東京地評、東京春闘共闘は北区労連と共催し、最低賃金の大幅引き上げの必要性を勤労者と地域住民に大きくアピールするイベントを開催します。

当日は労働・生活相談、フードバンクを実施します。

日時 5月29日(日) 13時開会
場所 王子駅前公園(東京都北区・王子駅北口)



夜の銀座デモ・表現の自由、民主主義を守れ

4.8夜の銀座デモ

22春闘勝利・ウクライナに平和を

MIC(日本マスコミ文化情報労組会議)に結集する出版労連、映画労連、全印総連は、22春闘・第5次統一行動を4月8日に実施、二女社争議、PAC争議の社前行動など行いました。1日行動として、夜は中央区労協と共催で銀座デモも行いました。

春の憲法月間 署名賛同は反戦平和の意思表示

東京地評は「憲法改悪を許さない全国署名」を10万筆目標で取り組んでいます。3面では、東京地評憲法月間の呼びかけにこたえて奮闘している組織の取り組みを紹介しています。

今回の署名は、これまでの改悪ストップ署名の繰り返しではありません。ウクライナ情勢を目的の

絶対にしてはならない」と痛感している組合員の声に、正面から向き合いながら、憲法9条はその声と願いを実現するものであることを強調し、署名賛同は反戦平和の意思表示につなげましょう。

なんとしても現物10万筆目標を達成し、参院選勝利に改憲阻止を勝ち取りましょう。

【3面につづく】

二女社は、放漫経営のうえ組合要求のゼロ回答や団交拒否を是正すべく社前行動。4度目になる都労委での不当労働行為を争っています。対応した弁護士に組合と誠実に話し合うよう要求しました。会社のある文京区では、文京区労協、文京労連、東京土建文京支部、CU文京支部の仲間が支援しました。

PAC争議は、20年年末に起こした労災死亡事故を内部告発した労働者への報復雇止め撤回を求めるたたかいです。50人